

地域人材ネット

ファンづくりツーリズムを梃子とした地域力の創造

佐藤 喜子光 (さとう きしみつ)

NPO法人地域力創造研究所 理事長



○ 登録者情報

所在地

神奈川県逗子市

略歴

1999年 観光政策審議会 専門職
2000年 立教大学大学院観光学研究科 教授
2002年 観光カリスマ百選選定委員
2008年 天草宝島観光協会 顧問
2009年 やまぐちのらしさわかたつ旅づくりネットワーク 顧問
2009年 阿蘇ゆるっと博覧会実行委員会 顧問

著書・論文等

「観光学への扉」(共著)(2008年 学芸出版社)
「めざせ！カリスマ観光士」(2003年 同友館)
「観光を支える旅行ビジネス」(2002年 同友館)
「旅行ビジネスの未来」(1997年 東洋経済新報社)

○ ファンづくりツーリズムを梃子とした地域力の創造

取組の内容

私は30年間、旅行会社に勤務し、まだ日本人には馴染みの薄かった海外旅行の「仕向地開発」と「顧客開発」の企画とマネジメントを担当して、「何が、喜ばれるのか?」、「喜ばれるものは、どう作り込めばよいのか?」、そして「その良さは、どうすればお客様に知ってもらえるのか?」という、永遠の課題ともいえる難問に日夜悩まされ続け、試行錯誤をかさねつつ悪戦苦闘してきました。その結果、「その地域らしさ」が最も持続発展可能な観光資源で、お客様の資質やTPOに合わせた「地域商品」が効果的で、そのためには目標市場の峻別と、身の丈にあった「おもてなし」が大切であること、そこで共感を覚えたお客様は必ずその地域のファンになってくれること、またファンは観光に限らず大好きになったその地域の地場産品を反復購入してくれることが分かりました。私は、この「ファンづくりツーリズムのマーケティング」の普及に努めております。

実績

1. 2008年 福井市観光ビジョン 策定(委員長)
2. 2008年 天草宝島観光協会 設立(指導)
3. 2009年 やまぐちのらしさわきたつ旅づくりネットワーク 設立(指導)
4. 2009年 雲仙天草観光圏協議会 設立(指導)

工夫した点や苦労した点

1. 地元行政府がイメージしている観光(ツーリズム)の意義や目的、そして効果に関する誤解を解くこと
2. 地元住民の意識改革(ツーリズムが物見遊山ではなく地域振興の梃子であること)
3. 複雑なステイクホルダーのコンセンサスづくり(官・民・非営利・営利と立場の異なる組織間の合意)

ひとことPR

1. 大学で専門に勉強したことが「心理学(カウンセリング～コーチング)」であったこと
2. 旅行業勤務時代に海外の先進観光地をくまなく研究した結果、売れる物と良い物の違いが分かったこと
3. 大学教員時代に本当は難解な話を素人にわかりやすく話して納得させる術を身につけたこと

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

連絡先

メールアドレス	satokishimitsu[アットマーク]gmail.com	その他	0967-46-4440 (事務所)
---------	---------------------------------	-----	-----------------------

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。